

みやづ

市議会だより

第118号
2025
2.20



令和6年12月定例会

常任委員会等報告
一般質問
議会活動
議会活性化の取組
〈特集〉議員がおじゃましました！

補正予算・条例等審査・意見書提出
11人の議員が市政を問う
市民と議会の懇談会を開催
議員報酬・議員定数の見直し案
放課後ひろばWAKU×WAKUキッズ

p. 2～5
p. 6～11
p. 12～13
p. 14
p. 15

てんきょうことぶきかい
天橋寿会
P16 参照

ひとこと

健康を守り、毎日を
元気に楽しく過ごす

てんきょうことぶきかい
天橋寿会

会長 宮田勝人さん

天橋寿会は、阿蘇海と宮津湾に挟まれ天橋立に隣接した府中地区に位置する会員40名の老人会です。
主な地域活動は、児童の登下校に付き添い、安全・安心のための見守り活動を行うとともに、老人週間奉仕活動の一環として、地区公会堂やこみ集積場の除草・清掃活動に取り組み一方で、大風や波により阿蘇海岸道路に打ち上げられた多くのゴミの清掃活動を行っているところです。

また、健康増進事業として、自ら考え実践している健康維持の体に優しい体操や屋外スポーツ、薬剤師の方による薬と健康についての研修会や、口腔と健康のつながりの大切さを知る講座を開催するほか、会員の親睦と知識を深めることを目的とした日帰り研修旅行にも取り組んでおります。

一方、課題もあり、少子高齢化が進む中、地域でささえ合いの輪を今以上に広めるためには、活動内容などの理解と協力を得ながら、会員を増やすことが必要です。

次の時代を担う子どもたちや家族のためにも、高齢者が健康を守り、元気で笑顔を絶やさない日々を過ごし、できる限り地域に貢献できればと考えています。



健康についての講座

3月定例会 会議日程

・請願書の締切り 2/18(火) 正午

日	月	火	水	木	金	土
2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	1
	振替休日	本会議 (開会・提案説明)				
2	3	4	5	6	7	8
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問、 質疑～委員会付託)	常任委員会・ 予算委員会	予算委員会	
9	10	11	12	13	14	15
		予算委員会		(予備日)		
16	17	18	19	20	21	22
		予算委員会 (総括質疑・委員間討議)	本会議【補正予算等】 (委員長報告～採決) 予算委員会 (委員間討議)	春分の日		
23	24	25	26	27	28	29
					本会議【当初予算等】 (委員長報告～採決)	

※開議時刻10:00 ・この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。

編集後記

宮津市議会では、『議会活動の見える化』の工夫を重ねています。

例えば、議会だよりにおいて、一般質問欄に添付のQRコードによる動画へのリンクは、議場における質問・答弁などの状況が手軽に視聴できます。

また、議会ホームページでは『会議情報』として、本会議、予算・決算委員会などの録画を配信。会議録の検索システムも備えています。『広報・情報公開』としては「議会だより」、「政務活動費」などを掲載。「活動報告」としては「市民と議会の懇談会」、「常任委員会による「所管事務調査報告」など。

『議会の見える化』の工夫をさらに続けてまいります。

(久保 浩)



【議会情報化委員会】

委員長 松本 隆
委員 宇都宮 綾
委員 堀 未季
副委員長 久保 浩
委員 安田 裕美
委員 幾世 恭典



物価高対応 給付金の支給 など

令和6年度 12月 補正予算

主な補正予算

【補正総額】一般会計 …………… 1億7,658万円
特別会計・事業会計 …………… 2,281万円

○主な内容

- ◆低所得者向け給付金給付事業 …………… 8,590万円
住民税非課税世帯への支援給付金の支給
- ◆清掃事務事業、魅力ある観光地づくり支援事業
…………… 2,048万円
文珠公衆便所を観光トイレに転換する自治会への支援
- ◆農山漁村コミュニティ活性化事業 …………… 160万円
担い手確保の支援体制を強化(地域おこし協力隊隊員の配置)
- ◆吉津財産区特別会計 …………… 1,377万円
花粉発生源対策として人工林の伐採・再植林等を実施
- ◆人事院勧告等に伴う人件費 …………… 7,011万円

12月定例会のうづき
令和6年12月定例会を、12月2日から25日までの24日間開催しました。
今定例会では、補正予算、条例改正など16議案と報告1件を審査し、いずれも原案のとおり可決、同意、承認しました。

また、議員提案の「103万円の壁」を早急に引き上げることを求める意見書」のほか、庁舎整備調査研究特別委員会の設置について可決しました。
一般質問は12月9日、10日に11人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は延べ20人でした。

庁舎整備調査研究 特別委員会を設置

市庁舎整備に関わって、市民の利便性を最優先に、分かりやすく移動しやすい議場等の在り方や、配置などを調査研究する庁舎整備調査研究特別委員会を設置しました。

委員長	松本 隆
副委員長	河原 末彦
委員	宇都宮 綾
	安田 裕美
	長本 義浩
	星野 和彦
	横川 秀哉
	小濃 孝之
	堀 久保
	坂根 未季
	幾世 恭典
	柴六 浩

同意 人事関係

次のとおり人事案件に同意しました。

◆公平委員会委員 豊浦嘉治氏

補正予算審査



一般会計

農山漁村コミュニティ活性化事業に
160万円

Q 今回の新規の地域おこし協力隊隊員の活動拠点が市役所となるが、活動の一番のねらいは何か？

A 宮津の農業の現状を知り、外に発信することによって、新規就農者の確保につなげる役割を果たしてもらいたい。

文珠地域における公衆便所から観光トイレへの転換支援に
2048万円

Q ビューランドの来場者は年間約50万人。利用の潜在性や観光産業の重要性を考えれば、補助支援ではなく、市が改修

などの整備を行うべきではないか？

A このトイレは、水洗化済みではあるが、下水道使用料から見ても利用は少ない。老朽化が激しく、付近にターミナルセンターなどのトイレもあることから、用途廃止をして除却し、市としては新たに整備は行わないこととした。

Q 累計2000万円の匿名寄附の経緯は？

A 令和5年度と6年度に、文珠地区まちづくりのためにという指定寄附があった。令和5年度の寄附1000万円は、使途が定まっていなかったため一旦まちづくり基金に積み立て、今年度の寄附1000万円と合わせ、寄附者の意向も確認



雪囲いを手伝う地域おこし協力隊隊員

する中で、文珠地区の公衆便所を観光トイレへ転換する支援に活用するもの。

委員間討議

農山漁村コミュニティ活性化事業

●宮津の地で農業に携わろうという希望者が出てきた中で、地域との関わりなど市がしっかりとサポートしていただきたい。今回のこの取り組みをきっかけに、不足する担い手の確保につなげられたい。

魅力ある観光地づくり支援事業

●公共施設再編の関係で、老朽化が著しい公衆便所を観光トイレに転換するもので、寄附者や地元自治会の意向に沿うようしっかりと支援されたい。

吉津財産区特別会計

1377万円

Q 国の「花粉発生源対策促進事業」に取り組むが、花粉量抑制の検証はどう行うのか？

A 花粉量が99%削減された花粉症対策苗を植えるもの。既に国において実証済であるため、当該事業において検証する必要はない。

委員間討議

●実施面積が市内の4000分の1に過

本会議



作業が進む吉津財産区有林

ぎず、市域全体の花粉症対策としては期待できない。
●今回のエリアは限定的ではあるが、私有林も多数ある中、市民の意識向上につなげるため、事業内容、成果をしっかりと市民に周知されたい。

一般会計・特別会計

低所得者向け給付金給付事業に
8590万円



Q 支給対象の住民税非課税世帯は増加傾向にあるのか？
A R5の同給付金の給付実績は当初分2468件、追加分2514件で、少し増加傾向にある。

人事院勧告及び人事異動などに伴う人件費に
7011万円

Q 会計年度任用職員が増えてきているが、将来見通しは？
A 持続可能な市役所が維持できるよう、正職員・会計年度任用職員を適切に配置していく。

条例関係

総務文教委員会

財産の無償譲渡

老朽化が著しく、利用頻度が低い文珠公衆便所について、宮津市公共施設再編方針書の方針に基づき、文珠自治会に無償譲渡するもの。

Q 当該施設の譲渡日を令和7年1月4日に設定した理由は何か？

A 年末年始は現トイレとして活用したいとの自治会意向を確認する中で、年末年始は市で管理し、その後、文珠自治会に譲渡することとなったもの。

産業建設委員会

宮津市新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給基金条例の廃止

新型コロナウイルス感染症の影響で経営状況が悪化した市内の中小企業者の資金繰りを支援した利子補給事業の令和5年度終了に伴い、当該基金の残額を国庫に返還、今年度当該基金を廃止するもの。

Q 利子補給によって支援した3年間において、利用件数はどうだったのか？

A 国の制度が始まる前に、宮津市でも利子補給制度を立ち上げていた中で、国制度への借換えの他の有利な方法を活用

されるケースもあり、思ったよりも利用件数は伸びなかった。

Q 利子補給を受けた事業者は、どのような業種が多かったのか。また、その後の事業者の動向は？

A 観光業関連の飲食、宿泊、小売り業者が約半数強を占めた。その後の状況は厳しいと聞く。今後の支援について国の動向を踏まえながら検討していく。

委員間討議

●制度融資の返済が始まる中、何が始まる前に、宮津市でも利子補給制度を立ち上げていた中で、国制度への借換えの他の有利な方法を活用

意見書

可決

◆「103万円の壁」を早急に引き上げを求める意見書

【発議者】

議会議員 安田 裕美

【要旨】

健康で文化的な最低限度の生活を営む権利の保障に資する観点から、現下の経済状況における賃金上昇を上回る所得税の負担増加等に対処するため、令和7年分以降の所得税について、次に掲げる措置を講ずることにより、いわゆる「103万円の壁」を早急に引き上げることが強く要望する。

- 1.基礎控除の最高控除額及び給与所得控除の最低控除額の合計額を103万円から178万円まで引き上げる。
- 2.扶養親族のうち、年齢16歳未満の者に対する扶養控除を復活させること。
- 3.扶養控除について、被扶養者の年収に応じた通減制を導入すること。
- 4.税制度の在り方も含め、地方団体の声も聴きながら、地方公共団体の財政状況に悪影響を及ぼさない制度を構築すること。

討論

反対

新無所属クラブ

星野 和彦

本件は宮津市の税収に数億円の影響がでる。また、減税効果は、高所得層に有利で、低所得層には不利だ。拙速な改革は避け、時間をかけて、所得税のあり方を改めて検討すべきだ。

賛成

蒼風会

坂根 栄六

最も重要なことは、憲法25条の生存権を保障すること。103万円と決めた30年前の最低賃金は611円。現在は1055円であり、178万円に見直されるべきものである。

全員賛成で可決した議案

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
報告13	専決処分の承認を求めること(R6一般会計補正予算(第7号))	承認	88	市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正	可決
80	公平委員会委員の選任	同意	89	一般職職員の給与に関する条例等の一部改正	可決
81	財産の無償譲渡	可決	90	R6一般会計補正予算(第10号)	可決
82	R6宮津まちなか地域振興拠点施設(立体駐車場)長寿命化改修工事の請負契約の一部変更	可決	91	R6国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
83	新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給基金条例の廃止	可決	92	R6介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
84	R6一般会計補正予算(第8号)	可決	93	R6介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	可決
85	R6一般会計補正予算(第9号)	可決	94	R6水道事業会計補正予算(第1号)	可決
86	R6吉津財産区特別会計補正予算(第1号)	可決	95	R6下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
87	し尿処理施設設備移設工事の請負契約	可決		庁舎整備調査研究特別委員会の設置	可決

○：賛成 ×：反対

一：議長は可否同数の場合のみ裁決

賛否の分かれた議案

	会 派 名		蒼風会				新無所属クラブ			公明党		共産党議員団		無会派	無会派		
議案番号	案件・結果		議員名		坂根	堀	長本	横川	星野	河原	久保	松浦	松本	小濃	宇都宮	安田	幾世
					栄六	末季	義浩	秀哉	和彦	末彦	浩	登美義	隆	孝之	綾	裕美	恭典
市議10	「103万円の壁」を早急に引き上げを求める意見書		可決	○	○	○	○	×	×	×	—	○	○	○	○	○	○

<報告第13、議第80・82・84・86号及び特別委員会の設置は12月2日、その他は12月25日に議決。>

【訂正とお詫び】
議会だより第117号・8ページの令和6年9月定例会の議決結果について、「議案番号75：個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正」は、『全員賛成で可決』としていましたが、正しくは「賛否が分かれて可決」(小濃・宇都宮議員が反対)でした。訂正し、お詫びいたします。

研修会に全議員で参加しました

与謝野町議会議員研修会

■日時 令和7年1月15日(水)

■演題

ハラスメント研修

「自治体議員が注意すべきポイント」

■講師

晴海ハートナーズ法律事務所

弁護士・元流山市政策法務室長

帖佐 直美氏

■内容

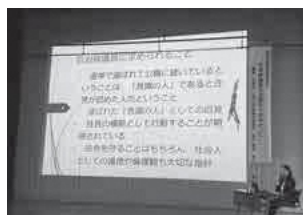
ハラスメントとは、「優越した地位や立場を利用した嫌がらせ」であり、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、モラルハラスメント、マタニティハラスメントなど、現在では多様化しています。

研修では、実際の事例や考えられる事例を元に、議員同士や議員と職員、議員と市民などの間に起こるハラスメントについて、どのような点に注意すべきなのかを学びました。

ハラスメントは、その相手を傷つけるだけでなく、議員自身、あるいは議会全体の社会的信用を大きく損ねる行為となり、住民の議会に対する関心の低下を招いたり、議会の魅力を失わせ、ひいては議員のなり手不足の一因にもつながります。

現状、宮津市においては、ハラスメントが起きても相談できる所がなく、どのように対応し対処していくのか、仕組みや規定がないことが課題であると思いました。

すでにハラスメントに対する条例を制定している自治体もあり、今後継続的な研修を受けながら理解を深め、他市の事例を元に、条例制定の検討などハラスメント対策に動いていく必要があると考えています。



11人の議員が一般質問



一般質問とは、市政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を問うものです。

答弁者は、下記のとおり略称を使用しています。

企画部長…企画財政部長 市民部長…市民環境部長

福祉部長…健康福祉部長 産業部長…産業経済部長

議会の録画が視聴できます

宮津市議会

検索

<https://www.city.miyazu.kyoto.jp/site/gikai/>



市民満足度の向上を目指して

市長
さらなる市民接遇の
向上を目指す



蒼風会
よこかわ ひでや
横川 秀哉

D X推進などによる業務改善、メンタルヘルス対策、カスタマーハラスメント対策指針の検討などを行っている。

また、「学び、チャレンジする組織風土、職場エンゲージメントを高める組織風土づくり」として、管理職による心理的安全性の高い職場づくり、職員アンケートによる職場環境の把握と改善、人事評価の給与反映といった処遇改善などを行ってきた。

いずれにしても、現状を良しとせず、引き続き市民接遇の向上はもとより、職員育成、組織風土向上を着実に進めていきたい。

市職員との接遇が良くなってきたと実感している。行政は最高のサービス業であるべきで、市民満足度の向上に直結する。市長が目指す「共創のまち」の実現に向けて、市民との信頼関係を強固なものにしていくため、さらなる市民満足度の向上が求められる。

また一方で、職員満足度の向上は市民満足度の向上につながる。職員の満足度の向上は市民満足度の向上につながる。職員の満足度の向上は市民満足度の向上につながる。

が組織を支える基盤であり、活力ある組織をつくり上げる原動力であると思っている。こうした考えのもとで、私から様々な場面で訓示や直接の指示を、あるいは所属長からの指導育成を行っている。具体には、新規採用時のビジネスマナー研修のほか、本市の接遇マナー基本マニュアルをもとに、各所属において実務を通じた指導を行っている。

職員満足度の向上については、「職員満足度の向上なくして、市民満足度の向上はない」と考えている。「風通しの良い職場・働きやすい職場づくり」として、

一問一答

住み慣れた地域で暮らせるまちに

福祉部長
介護予防・介護人材育成
に取り組んでいく



新無所属クラブ
かわはら すえひろ
河原 未彦

高年齢者ができる限り長く自立した生活を送れるよう第7次宮津市総合計画に目標を掲げているが、その達成度と課題は、

ながら取り組みを進めていく。

福祉部長 健康寿命と平均寿命を近づける目標は、府平均より男性は0.1歳、女性は0.8歳短くなっているが、総合計画の目標までは到達していない。達成に向け、住民健診の受診率向上や生活習慣改善に向けた取り組み、健康づくり運動、フレイル予防・介護予防など、要介護状態に陥らないための取り組みを引き続き強めていく。

福祉部長 国においては、①処遇改善②多様な人材の確保育成③離職防止・定着促進・生産性向上④介護職の魅力向上⑤外国人材の受け入れ環境整備の5本柱で総合的に進められている。国や府と連携し

一問一答

農家への支援体制を問う

産業部長
農業・農村の維持、発展に
つなげる支援をしていく



無会派
やすだ ゆみ
安田 裕美

新規就農者制度の利用人数は。販売農家の主業経営体農家の何%か。

援では、中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、機械整備支援、防護柵設置支援などがある。市としては相談の上、国・府の制度を活用していく。

Wellbeing（地域幸福度）指標を導入してはどうか。

産業部長 現在17名、約14%である。

市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

産業部長 35戸と推察する。生産性向上や作業効率化、付加価値の向上などを図る支援がある。市は国・府の支援を活用できるようなサポートしていく。

市にわかりやすく伝える市の財政

市にわかりやすく伝える市の財政

市長と議員選挙の別日実施を

市長と議会の政治判断の結果として起こるもの



無会派

幾世 恭典

問 特に若い世代にとつて、経済面でも経済以外の生活面でも悪循環真つただ中の宮津市に対して、諦めに近い不安を感じているのではないか。このような宮津市の現況は、誰の責任なのか。政治家の責任が大きい側面もあると考える。私のおよそ2年間の議員経験を通して感じるのは、議会は重要な存在だが、議会の権能を発揮できていないことである。議会が持つ最大の権能は議決権であるが、その議決権が発揮できていないという意味は、議会の存在が、行政側の予算編成や事業内容に影響を及ぼせていないと感じられることである。関連す

ることで言えば、予算案について行政側からの事前根回しを通して議員の意向が反映されるといふことも行われていない。このような事態は、議会にも原因の一端はある。最も象徴的なことは、宮津市政70年を通して議会は議案を否決したことがない。議会の権能である議決を行使しているとは考えにくいと市民の声がある。特にこれから宮津を作る若者世代の期待に応えるためには、議会であれば、議決権や調査権の与えられた権能を発揮できるように環境整備を行う必要があると考える。環境整備の方向性としては、①議員の研さん②議会運営

の整備③議員を変える、の3つがあると考ええる。この中で「議員を変える」に関わる選挙内容の提案をする。つまり市長選挙に立候補する人財であれば、市議会議員になっても議会の権能を十分発揮できるはず。そこで、市長選挙と市議会議員選挙の別日実施を提案するが、市の見解を伺う。

総務部長 選挙が別日に変更されるのは、議会の任期途中の解散、議員の総辞職、市長の退任の3つの場合だ。議会、議員、市長の判断の結果として起こるものだ。問 市長、議員の皆さん前向きに検討しましょう。

問 現在、鉄道利用に係る宮津駅前駐車場の割引制度では、宮津駅から福知山、西舞鶴、豊岡駅以遠までの区間で往復乗車券と特急券を利用した場合、入場後に24時間分（上限千円）が無料となる。現在、特急を利用するにも10時6分の時刻までなく、利用者ニーズに適合していない。たとえ片道が特急を利用できなくても、入場後の24時間分の駐車料金に反映すべきではないか。

企業部長 丹鉄は、上下分離方式によりウイラートレインズ株式会社が利用促進を含め、運行に専念している。宮津駅前駐車場の割引制度は、同社が運行会社のサービスとして実施している。実情に応じた割引について検討するよう伝える。

福祉部長 障害のある方の鉄道運賃割引について、令和7年4月から実施されるJR6社の割引制度変更の内容として、精神障害者保健福祉手帳の1級所持者も身体障害者療育手帳所持者と同等の扱いなどとなる。移動距離制限の緩和や撤廃を含め、障害を持つ方への鉄道運賃の割引適用の拡充を要望していく。

括

鉄道利用に係る割引制度の改善

移動距離制限の緩和など割引適用拡充を要望する



公明党

まつもと たかし 松本 隆

一問一答

食料自給率向上を国に求めるべきだ

産業部長 京都府と連携して国に要望していく



日本共産党

おのう たかゆき 小濃 孝之

問 今年のような米不足が起こらないように、国に要望すべき。

産業部長 消費者の買い込み需要の再発がないように、冷静な消費行動について国の発信を期待したい。

問 肥料代などの高騰に対する補助をすべきだ。

産業部長 生産資材などのコスト上昇分を販売価格に転嫁できる仕組みづくりについて、国に要望を行っている。

問 中津地区の米農家は10年前に比べ激減している。この状況を打開するにはどうすればいいのか。

産業部長 鳥獣の変化に合わせて、高さを確保する柵の追加等の機能強化支援など、地域事情に応じた取

により、就農直後の経営確立を支援しているほか、地域との接点を見出す農業体験プログラムなどを実施していきたい。

一問一答

全ての人に安心して優しい観光地へ

産業部長 新年度に向けて、取り組みを進めていく



蒼風会

ほり みき 堀 未季

問 宮津市の主要観光地のバリアフリー化の状況は。

産業部長 主要観光施設の物理的な対策は講じてきたが、施設間で取り組み状況に差が生じている。働きかけを強め、行政において引き続き誰一人取り残さない観光地を目指していく。

問 バリアフリーの情報提供について、2025関西大阪万博を見据えてどのような考えか。

産業部長 万博に向け、情報収集し、分かりやすい発信をどのように行うかも含めて検討していく。



移住定住の促進をどう展開するか

副市長 移住コンシェルジュと地域の連携などを拡充



新無所属クラブ
くろき ひろ昭

問 京都府や宮津市の支援による空家バンク制度の利用などで、日ヶ谷地域に徐々に移住者が増えつつある。地域の消滅が危惧される中、地域への移住などにつながる諸施策は、大変重要かつ大いに期待される。

副市長 移住希望者と移住受入側のニーズマッチングが大切だが、移住コンシェルジュの活動について、どのような点に気を付けてサービスに努めているか。

副市長 地域の情報を移住希望者へ伝えることが重要である。移住コンシェルジュの視点での情報発信はもとより、移住コンシェルジュが地域へ入りながら地域の

情報発掘、発信をサポートしていくことが重要と考える。現在、日ヶ谷地区をはじめ、いくつかの地区で取り組みを進めているところであり、今後、他の地域にも広がっていききたい。

また、移住希望者のニーズを把握し、それを地域に伝え、地域と一緒に受け入れ体制を構築していくことが必要。そのため工夫として、クロスワークセンターにおいて、移住希望者や関係人口などの様々な課題やニーズをカルテにまとめ「見える化」を進めている。

今後、これらのニーズを地域と共有し、移住希望者などのニーズに合った受け入れ体制を地域と一緒



れ体制を地域と一緒に考えていく取り組みを進める。さらに、今年度より、移住希望者と地域との接続をよりスムーズに進めるため、みやづ暮らしナビゲーターを設置した。これらの取り組みにより、移住コンシェルジュと地域との連携をさらに深め、移住できる体制を構築していく。

一問一答

日置小に放課後児童クラブの設置を

教育長 放課後見守り活動の体制をしっかりと充実させる



日本共産党
うつのみや あや 綾

問 共働き世帯の増加により全国の放課後児童クラブ待機児童数が過去最多。市の利用状況と課題は。

副市長 放課後児童クラブの通年利用は、宮津小100人（定員112人）、栗田小21人、吉津小25人、府中小18人。（宮津小以外は定員35人）

問 通年利用者が次年度に高学年利用を断られたかどうか。

副市長 できるだけ受け入れたいが、低学年優先。定員や学年を勘案し判断。放課後児童クラブの設置がない日置小の放課後の見守り活動の事業に至った理由は。実施主体、内容と状況、登録者数、課題と事業方向性は。

副市長 放課後児童クラブの設置がない日置小の放課後の見守り活動の事業に至った理由は。実施主体、内容と状況、登録者数、課題と事業方向性は。女性社会進出を阻

んでいる。また、放課後児童クラブを設置しないのは、再編対象だからなのか。「若者を選ばれるまち」というなら、子育てしやすい環境にすべきでは。教育次長 保護者の苦勞は認識している。放課後児童クラブの設置は、留守家庭の子どもの居場所と理解。指導員確保が難しい時は、地域、地域外、民間も含めて確保を検討する。ニーズをしっかりとつかみ、開催日数を増やしたい。

教育長 子どもたちの放課後の安全確保の重要性はよく理解している。放課後見守り活動の体制も含め、しっかりと充実させる。

一問一答

みやづの地域経済の今後の対策は

産業部長 国の経済対策の活用や域内調達を働きかける



蒼風会
さかの かい 六

問 みやづ経済ダイジェストの前年同月比を見ると、観光・飲食業を除き、他の業種は大変厳しい状況である。経済分析は。

産業部長 飲食・観光業を除くそれぞれの業種で、前年度と比較し売上額などの項目で減少傾向が見られる。物価などの高騰を受けて、厳しい状況にあると認識している。仕入原価の高騰、最低賃金の引き上げなど経費がかさむ中、価格転嫁や生産性向上が進んでいない。

問 ゼロゼロ融資の返済、物価高騰による原材料や仕入れ価格の上昇が売り上げを圧迫、日銀の政策金利の引上げ、最低賃金の人件費増が影響

している。今後の支援・対策は。

産業部長 国府の支援の周知に加え、事業者が実施する生産性向上のための取り組み支援を継続するとともに、国の経済対策も活用し、宮津商工会議所とも連携を図りながら事業者支援に努める。

問 みやづ産業フェスタでの事業者や創業者が増える中、お互いを紹介していけるように「暮らしの手帳」のような業種別の事業者紹介誌はできないか。

産業部長 他産業を結びつける施策の指標の一つである産業連関表での市内調達率は、最終需要分が83・3%、中間需要分が16・7%。消費者

一問一答

天橋立を世界遺産にする取り組みの動向

教育次長 認定に向けて重要な局面を迎えている



新無所属クラブ
ほしの かずひ 彦 星野 和彦

問 平成16年の台風23号被害を機に天橋立を世界遺産に登録する取り組みが動き出し、今年で20年たつ。世界遺産の認定に向けた動向を尋ねる。

① 経済等の波及効果。② 京都府との連携。③ 天橋立を世界遺産にする会のホームページの英語以外の多言語表記と天橋立世界遺産講座の動画配信など情報発信の促進。（世界遺産を決めるユネスコ総会の公用語は10カ国語）

教育次長 ① 知名度向上や地域の誇りなどが地域経済の活性化につながると考える。② 今、天橋立は認定に向けて重要な局面を迎えている。京都府が事務局を務める世界遺産登録推進会

議の専門委員会内に、ワーキンググループが設置され、本市の学芸員も積極的に参加し、天橋立の顕著な普遍的価値について、様々な角度から検討を進めている。

③ 昨年度にホームページを刷新し、SNS機能を加え、天橋立の歴史等を掲載している。今後、多言語化表記も進めたい。

オーバーツーリズム対策の観光税

問 今夏、会派で視察した広島県廿日市市は、昨年10月から日本三景の宮島訪問税を始め、1年間で約4億円の税収を得て、オーバートーリズム（以下OT）対策に充てる予定だ。宮津市の観光動向を問う。

① OTの影響。② 観光事業の税収。③ 入湯税の値上げや宿泊税導入の検討。産業部長 ① 天橋立、伊根の路線バスで混雑する時もあり、丹海バスが運転士不足の中、増車の対応や主だったバス停のみ停車する直行便を実証的に運行するなど対策を取られている。市民部長 ② 昨年度法人税割の人市民税法人税割の上位50社を日本標準産業分類で分別すると、宿泊業・飲食サービス業の市内全体に占める割合は2%だが、観光は他の産業への波及効果が大きく、宮津市の基幹産業の一つだ。③ 新税の導入については、引き続き検討する。

—「地域の防災」などについて意見交換— 市民と議会の懇談会を開催しました

市民と議会の懇談会は、議員が直接、議会活動に関する情報を市民の皆さんにお伝えすること、また、多くの方の声を伺って、地域の状況・課題・意向を把握し、議案の審査や政策提言などに活かしていくことを目的に毎年開催しています。

今年度は「地域の防災」をテーマに、 各地区でグループごとに意見交換していただきました

※各地区で出された主な意見

〈避難先〉

- 避難時の移動手段、避難所の備蓄品や受入れ機能などの点検・確認が必要。
- 公民館だけでは収容人数に限りがあり、耐震化が施してある小学校校舎も避難所にするべき。
- 学校の体育館は暖房やトイレに支障がある。民間施設などと避難所協定を結ぶべき。
- 距離や道路の通行止めなどを考えると、市町を越えた避難体制なども検討すべき。

〈防災グッズ〉

- 災害を経験した人は意識が高い。大震災の経験から常備品を用意しているが、備えについて啓発すべき。

【用意しておくの良いもの】

小銭、発電機・充電器、石油ストーブ、カセットコンロ、食料（長期保存可）、飲料水、食用品ラップ、非常用トイレ、懐中電灯、肌着、手袋、寝袋など

〈共助 — 地域でできること、必要なこと〉

- 消防団、自主防災組織などが高齢化で弱体化している。
- 個人情報保護のため情報共有ができず、独居高齢者などの支援体制づくりが困難なため、対策を考える必要がある。
- 地区防災計画が未作成のところがある。隣組の皆さんで連携して動くことが大事。
- LINEを活用して情報共有する。高齢者などには地域の方が直接伝えるようにする。



〈公助 — 支障があること、今後の課題〉

- 「災害時たすけあいネットワーク」の機能が十分に発揮されるように改善が必要。
- 災害時における行政の相談先を明確にし、対応窓口を一元化してほしい。
- 国道178号線は唯一の生活道路で、里波見～長江間の道路整備を進めてほしい。
- 火災や風水害などの情報が「防災メール」で送信されても分かりづらい。従来どおりのサイレン吹鳴をしてほしい。
- 自主防災組織、消防団などの活動における財政的支援の拡充を望む。
- 防災無線の整備など情報の地域差を解消してほしい。（自治会有線放送が有効。）



●開催状況

開催日	会場	担当議員	参加者数
10月21日(月)	城東会館	松本 隆	9人
10月29日(火)	吉津地区公民館	宇都宮 綾	16人
10月31日(木)	府中地区公民館	河原 末彦	7人
11月1日(金)	養老地区公民館	星野 和彦	8人
11月5日(火)	日置地区公民館	坂根 栄六	18人
11月6日(水)	世屋地区公民館	幾世 恭典	7人



開催日	会場	担当議員	参加者数
10月28日(月)	栗田地区公民館	久保 浩	9人
10月29日(火)	福祉・教育総合プラザ	小濃 孝之	1人
10月30日(水)	福祉・教育総合プラザ	安田 裕美	7人
11月1日(金)	由良地区公民館	長本 義浩	19人
11月5日(火)	上宮津地区公民館	堀 未季	19人
11月7日(木)	日ヶ谷地区公民館	横川 秀哉	7人
12会場		合計	127人

議会報告として、 令和5年度決算の審議内容を報告し、 次のようご質問・ご意見をいただきました

- 令和5年度の人件費について対前年度比は。近隣市町の状況との比較は。
- 市債が減額傾向にある中で、今後の施設建設予定は。
- ふるさと納税の返礼品などに係る経費の割合は。
- 基金残高が高まる中で、地方債残高が前年度末から8億8千万円減の149億8千万円であるが、交付税で措置される分を除いた純残高はどれくらいか。
- 上宮津地区公民館移転事業の予算執行実績は。
- 宮津エネルギー研究所跡地の活用の進ちょく状況は。
- つつじが丘団地の販売促進の価格見直しなどは。
- 平成30年度策定の「財政健全化に向けての取組」は5年間の取組が終了したが未達成。「第2期行財政運営指針」は計画どおり達成してほしい。



つくるう！マイ・タイムライン
わたしの防災行動計画



各地区ごとの懇談会報告書は、
市議会のホームページに
掲載しています

市民の皆さまには、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、

所管部署に伝え、議会で調査を行うなど、今後の市政運営に反映できるよう議会として取り組みます。

議員が
おじゃま
しました！

"地域で子育て"をモットーに 放課後ひろば WAKU×WAKUキッズ



@HOKAGO.WAKU_WAKU



スタッフの皆さん

基本的に月2回開催しています。子どもたちが楽しく経験できる企画をスタッフ3名で考え

活動内容はこういった
ものですか？

学童保育を利用していない小学生が放課後に天候を気にせず、安全に遊べる場所を作りたいと思います、始めました。

活動を始めた理由を
教えてください。

令和5年から活動されている『放課後ひろば WAKU×WAKUキッズ』（代表：河崎加奈子さん）におじゃました。子ども登録者数は50名で、毎回多くの子どもたちが遊びにきています。



ビンゴゲームを楽しむ
子どもたち



子どもたちが作った
マラカス

スタッフ3名で、ZOOMも活用しながらミーティングを月2回行い、企画内容や運営方法などを話し合います。企画に合

どのように運営して
いますか？

しています。特に、地域におられる「特技を持つている人」（料理、けん玉、剣道など）をお招きし、『ちょっとやってみる』精神を刺激する体験型の企画は人気があります。

（子どもたちを見ながら）この情景です。子どもたちが年齢問わず窮屈にならずに楽しんで、WAKU×WAKUの開催を楽しみにしてくれていることです。また、子どもたちが自然にいろいろ考える遊び場を提供できていること。普段接しないような地域の方々と一緒にできることです。

やりがいを感じる時は
どんな時ですか？

工作の試作や、限られた時間で子どもたちが作りやすいように下準備をしたり、必要なものの買い出しなどを行っています。開催日には、その日限定のボランティアさんが1〜2名参加されたり、中学生・高校生が手伝ってくれたり、看護学校の学生さんが実習に来られたこともあり、色々な年代の方と触れ合う場にもなっています。広報は友達伝いが多いですが、公式LINEやInstagramも開設し情報発信しています。

参加している子どもたち
の声を聞かせてください。

- 工作したり、お菓子食べたり、みんなでできるのが楽しい。
- いつも楽しみにしていて、明日ワクワクやで！って言うってヤッター！
- 色々な遊びができるのが良い。おやつも楽しみ。



おじゃました日は
クリスマス
イベント開催中。
手作りのプレゼント

取材をして感じたこと

スタッフの方が時間と労力をかけて創り上げている事に感銘を受けました。登録者数50名と多くの親御さんにも信頼され、子どもにとっても安心できる場所なのだろうと思いました。このような魅力的な活動を、宮津市としても強く支援していくべきと感じました。

（記／幾世 恭典）

議員報酬・議員定数の見直し案を3月定例会で報告 — 議員定数は2人削減の12人とする条例改正案を上程へ —

議員報酬と議員定数の見直しについては、令和5年6月から議会活性化特別委員会（議長を除く全議員で構成）で議論を重ねてきました。

昨年9月に中間案をまとめ、自治連など市民団体の代表・学識経験者の皆さんとの意見交換会を11月から計3回実施。さらなる議論を重ねた案により、2月の市民説明会において説明し、貴重なご意見をいただきました。

これらの経過を経て、この度、議会活性化特別委員会としての見直し案をまとめました。3月定例会で報告、議員定数は14人を12人とする議案を上程していきます。



議員定数(案)について【現行14人】

改選後の次期(令和8年7月10日～)から、2人削減の議員定数12人とする

【主な根拠】

- 府内各市の委員会構成は平均7.3人。委員会審査等の維持・発揮のために1常任委員会は最低6人を必要とし、現行の2常任委員会制をできる限り堅持していく。
- 意見交換会において、7名中5名の方が議員定数12人の方向性を示された。
- 市民の声を反映するため、これまで議員1人当たりの人口はおおむね1,100人～1,200人を確保。この指標と中長期的な人口推移(10年先の推計は1万2千人台)を見据えた適正人員にしていくことが必要。

議員報酬(案)について【現行月額35万円】

今後も検討を重ねて、複数案(35万円維持～42万円)の中から絞り込み、特別職報酬等審議会に諮問し、審議会の答申をもとに決定する

【主な根拠】

- 議員のなり手不足や物価上昇などを踏まえ報酬引き上げ案の議員が半数おり、社会情勢や経済情勢が変化してきている中、報酬額の改定を28年間行わなかったことから、審議会に諮問するのが適切である。
※意見交換会では「議会及び議員の活動が見えにくい」とのご意見をいただいております、議会だよりの改善やSNSを活用した発信等を検討し、「議会・議員の見える化」を進める。
※委員長加算については、導入している他市議会の状況等を研究していく。

【今後のスケジュール(予定)】

R7.3月

- 議員定数の条例改正を、市議会定例会にて提案、議決

R7年度

- 議員報酬の額について、宮津市特別職報酬等審議会に諮問
- 同審議会からの答申を受け、議員報酬の額を決定する
- 条例改正が必要な場合は、市議会定例会にて提案、議決

R8.6月

- 宮津市議会議員一般選挙（新定数を適用）

